

あおぞら

第50号



医療理念

1. 医療の原点に立った心温まる医療
【Humanism】
2. 高度医療の提供
【High Level】
3. 職員一同連携し仕事を通じての
人間的成長 【High Growth】

目次

看護部長退任に寄せて……………	2
看護部長就任のごあいさつ……………	3
副看護部長就任のごあいさつ……………	3
NEW FACE ……………	4
認知症サポートチームについて……………	5
山がすぎです NO MOUNTAIN NO LIFE ………	6
『あおぞら』50号のあゆみ ……………	7
外来週間診療予定表……………	8

医療法人

看護部長退任によせて

病院顧問

金子 文子



この度3月31日をもちまして副院長兼看護部長を退任致しました。在任中は病院職員始め関係する医療機関、事業所の皆さまから多大なご支援を賜り深く感謝申し上げます。

2015年4月より看護部長に就任し、昨年5月からは副院長を拝命し兼任させていただきました。看護部におきましては、科や部門を超えた多くの職種や職員の動き、現場の状況、問題など様々な情報が集まり、把握できる部署と考えます。看護職の立場で看護職の視点で病院経営、改革を進めていく組織の一員として、看護部長が副院長職を兼任させていただくことは重責ではありますが、大変やりがいのあることと受け止めております。

看護部長就任当初より、光晴会病院が目指す、患者さんやご家族、地域の皆さまに信頼され選ばれる病院であるよう、看護部門がその組織の最大部門であることを十分に認識し、看護職員の育成に努めてまいりました。患者さんの一番近くにいる看護師が、患者さんの思いをしっかりとくみ取り、時には患者さんの代弁者ともなり、多職種チームの中で活躍できる、役割をきちんと果たせる看護職でありたいとい

う思いで看護部管理者と共に取り組んできました。

看護部長としては、看護者、管理者としても未熟な面が多く、皆さまの期待に沿うような成果は出せず、課題を多く残してのバトンタッチとなりました。

今、医療や看護・介護を取り巻く環境やニーズは多様化し変化しています。柔軟に対応し前に進み、成長する看護部組織であるよう期待を込めてバトンタッチしました。

今後も増田看護部長、岩田副部長の新体制へ変わらぬご支援を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

私は4月から病院顧問として引き続き勤務させていただきます。

主な業務として、患者さん・ご家族の不安や心配事等への相談対応や、医療メディエーターとしての役割、また広報関連等を担当させていただくことになりました。慣れない分野での活動となり至らぬことも多く、皆さまには何かとご迷惑をおかけすることと思いますが、与えられた職責を全うしていく所存ですので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

看護部長就任のご挨拶

看護部長
増田 千代子



この度2019年4月1日付で、副院長兼看護部長に就任いたしました。どうぞよろしくお願ひ致します。

振り返ってみれば、私事ではありますが、昭和の最後の年に光晴会病院に入職し、平成の時代は仕事に、ライフイベントにと、あっという間の30年余りでありました。一つの時代が終わる侘しさも感じていました。そんな中、新しい年号が発表されました。『令和』!いざ発表されてみると、新しい時代を迎える新鮮な気持ちにもなってきます。この節目の年、しっかりと役割を全うしていけるよう、気持ちを新たに邁進して

いきたいと思っております。

光晴会病院の看護部では「信頼感に根ざした安心と温かさのある看護を提供します」を理念に掲げています。地域包括ケアシステムが推進される中、地域住民の方々のニーズを把握し、安全で質の高い医療、看護を提供していくためには、人材育成、多職種連携、働きやすい職場環境づくりが必要であると考えます。教育・研究はもちろんですが、日々の看護実践を通して、チーム医療の中心的役割を担う自律した看護師の育成に努めていきます。

副看護部長就任のご挨拶

副看護部長 (安全対策室)
岩田 直美



2月1日より副看護部長を拝命いたしました岩田です。2012年より医療安全管理者という立場で患者さんやご家族に安全な医療を提供できるよう組織横断的に活動することを役割としてきました。患者さんの意思を尊重した安全で質の高い医療・看護を提供するためには、医師・看護師をはじめ多職種と協働で行うチーム医療が必要不可欠だと思っています。連携のとれたチーム医療が円滑に行われ

ることを目指し、看護部においては、看護師一人ひとりがチーム医療の重要な一員として力を発揮し、役割を果たすことが出来るよう、看護師長・主任とともに人材育成に取り組んでいきたく思います。

副看護部長としては甚だ微力ではありますが、自己研鑽を重ね、看護部の発展のために日々努力していきたくと思っています。今後一層のご指導、ご協力をよろしくお願い致します。



①氏名 ②診療科 ③学会等の資格
④出身地 ⑤趣味・特技 ⑥自己PR

医師



- ①古館 晃(ふるたち あきら)
- ②心臓血管外科
- ③三学会構成心臓血管外科専門医・修練指導医/日本外科学会専門医・指導医
/日本循環器学会専門医/腹部・胸部ステントグラフト実施医
- ④佐賀県
- ⑤スポーツ観戦
- ⑥よろしくお願ひ致します。



- ①山口 泉(やまぐち いずみ)
- ②外 科
- ③日本外科学会専門医/日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- ④福岡県
- ⑤旅行・写真
- ⑥肛門疾患、排便障害などの治療を通じて、地域の方々のお役に立てればと思っっています。



- ①荒木 杏平(あらか きょうへい)
- ②泌尿器科
- ④佐世保市
- ⑥泌尿器科5年目となりました。まだまだ未熟者ですが山下先生はじめ先生方にご指導賜りつつ成長し、地域の皆様の健康に貢献したいと思います。



今年度もあたらしい仲間が増えました。みなさんよろしくお願ひ致します！

認知症サポートチーム活動のご紹介

認知症看護認定看護師
福田 康恵

当院へ入院される患者さまの平均年齢も70歳を超え、認知症ケアを必要とする患者さまが増加しております。当院では2012年より精神科医師を非常勤に迎え、認知症看護認定看護師と、入院病棟からリンクナースを加えた“認知症心理ケアサポートチーム(以下DPST)”を発足しています。発足当時は週一回の院内回診を行い、急性期治療を中断させない一助となる目的をもって活動しておりました。しかし日々、急性期疾患をもって入院してこられる患者さまへ対応するためには、専門家のみならず、すべての職員が認知症を学び、ケアの実践者となる必要がありました。そこでDPSTは、2016年に内科医の柴田龍二郎医師が認知症サポート専任医として、田川療養所院長の田川雅浩医師と共に、精神保健福祉士・認知症看護認定看護師・作業療法士・薬剤師・リンクナースと総勢18名の大所帯となりました。そして、院内回診も週二回へ増やし、BPSDやせん妄を防ぎ、よりよい関わりができるよう早期介入を目指しています。

DPSTはユーモア溢れる人材に恵まれ、賑やかにカンファランスを重ね、真剣に患者さまに寄り添っていきたく活動しています。その思いが、全職員に伝染し、認知症ケアに強い病院となれるよう、毎年全職員を対象に院内勉強会を開催しています。勉強会は毎年趣向を変え、認知症ケア実践に活かせる内容としています。昨年度は座学に加え、現場でおこる“あるある”な事例をもとに“Do&Do not!”として、DPSTが誇る女優陣による再現ドラマ実演を行いました。本日は、DPST主演女優賞を受賞した4人を掲載し、ご紹介しました。

よりリアルタイムに患者さまの状況と職員の意見を把握できるよう、多職種編成の、このチームでさらなる“絆づくり活動”を楽しく、続けていきたいと思っております。この記事をお読みいただいた皆様におきましても、ご協力いただいておりますこと、大変感謝しております。今後とも、よろしくお願いいたします。

DPST主演女優賞



山が好きです

NO MOUNTAIN NO LIFE



臨床工学科 中垣内 友規

突然ですがうちの病院の良いところはなん
でしょう。西友が近い、駅が近いなどありますが、私にとっては「岩屋山」が近いことです。私
は岩屋山のおかげで登山やトレイルランニングが大好きになり、そのおかげで様々な出会
いがありました。

岩屋山との出会いは手術室看護師の山下
千晶さんを誘いハイキング気分での初登頂し
たことでした。一目惚れの経験はありませんで
したが岩屋山には一登惚れしました。

私達は緊急手術の呼び出しなどがあつた場
合には最低でも一時間以内に病院に駆けつ
けなくてははいけません。そんな日でも岩屋山に

行きたい!走ったら間に合うかも!とそこで山を
走るスポーツがあると知りました。それがトレ
イルランニングです。

トレイルランニングは全国各地で大会が開
催されており、長崎でも開催されています。多
良の森トレイルランニングは九州でも人気
TOP3に入る人気の大会ですので興味がある
方は是非選手かボランティアスタッフとして参
加しませんか?

大会以外でもハイキング気分での登山や
山頂でカップラーメンを食べてみたいなど山
に興味がある方は是非臨床工学科の中垣内
に声をかけて下さい!



あおぞら

50号の
あゆみ

広報誌「あおぞら」は平成最後の今号で50号を迎えます。これまでの発行にあたり、職員のみなさんはもとより、日頃お世話になっております地域医療機関の先生方にも快くご協力をいただき本当にありがとうございます。次号51号は新しい年号「令和」と共にスタートします。これからも、みなさんに楽しく読んでいただける広報誌をめざして、日々頭のアンテナを張りめぐらせ、院内外の情報を発信していきたいと思っております！！

2005年創刊号



2006年3月号



2007年8月号



2008年11月号



2009年6月号



2010年12月号



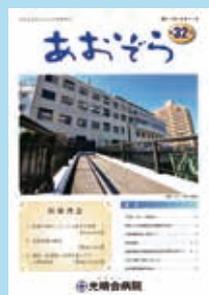
2011年5月号



2012年2月号



2013年5月号



2014年11月号



2015年9月号



2016年10月号



2017年4月号



2018年4月号

外来週間診療予定表

2019年4月1日～

		月	火	水	木	金	土
内科	3 診	田浦直太 (消化器) 福田康弘 (消化器)	宮副由梨 (消化器)	吉岡正人 (一般内科)	宮副由梨 (消化器)	柴田雄一 (一般内科)	心療内科 (午前) 不定期休み
	4 診	宮崎健一 (腎臓・一般内科)	柴田龍二郎 (腎臓・一般内科)	福田康弘 (消化器)	大坪俊夫 (腎臓・膠原病)	柴田龍二郎 (腎臓・一般内科)	
	5 診	河野仁寿 (呼吸器)	森川伸雄 (呼吸器)	河野仁寿 (呼吸器)	森川伸雄 (呼吸器)	河野仁寿 (呼吸器)	
	6 診	和泉元衛 (甲状腺・肥満)	赤星 浩 (消化器)	柴田雄一 (一般内科)	赤星 浩 (消化器)	和泉元衛 (甲状腺・肥満)	和泉元衛 (甲状腺・肥満)
循環器内科	7 診	武野正義	石崎正彦		武野正義	石崎正彦	
心臓血管外科	8 診	ふるたち 古館 晃	迎 洋輔		古賀秀剛	古賀秀剛	
泌尿器科	9 診	山下修史	あらききょうへい 荒木杏平	山下修史	大学医	あらききょうへい 荒木杏平	
外科	10 診	岡田和也	岡田和也	大学医	進 誠也 (おなかのヘルニア (脱腸) 専門外来)	進 誠也 (おなかのヘルニア (脱腸) 専門外来)	
	11 診	岸川博紀	甲 菰子	岸川博紀	岸川博紀	田中史朗	
				田中史朗	やまくち いずみ 山口 泉	吉本浩 (形成外科)	
【午後】 14:00 ↓ 16:00	3 診				吉岡正人 (一般内科)		
	4 診		大坪俊夫 (CKD 専門)	宮崎健一 (CKD 専門)			
	8 診		第 1.3.5 週 13:00 ~ 15:00 古賀秀剛 (下肢静脈瘤専門)				
糖尿病センター 9:00 ~ 12:00		赤澤昭一 有森春香	赤澤昭一 世羅康徳	赤澤昭一 世羅康徳	赤澤昭一 世羅康徳 フットケア	赤澤昭一 世羅康徳	

※ 診 療 科 目：内科・外科・泌尿器科・循環器内科・心臓血管外科・消化器科・リウマチ科・リハビリテーション科・呼吸器科・腎臓内科・形成外科・肛門外科・糖尿病内科・麻酔科

※ 診療受付時間：午前 8:30 より 午前 11:30 まで ※ 予約制ですので、できるだけ予約をお願い致します。

光晴会病院 地域医療連携室 TEL 095-857-3563 (直通) FAX 0120-573-632 (直通)

(コミュニケーションマガジン) 編集委員

編集・発行責任者：岡田 和也

編集スタッフ：向井・岩谷(南3階) 杉内(北4階)

濱口(外来) 白木(血液透析室) 平野(中材)

川野(臨床工学科) 吉井(総務課)

医療法人 光晴会病院

〒 852-8053 長崎市葉山 1 丁目 3 番 12 号

TEL 095-857-3533 FAX 095-857-2572

<http://www.kouseikai.org/>